

認定番号：32 サポーター名：株式会社 IHIインフラシステム

取組実績

①治水上、重要な水門施設の一般への周知と、社会課題である担い手不足解消への貢献
 ・当社が運営している、水門設備に関わる全ての方が学べる体験型研修施設「防災・水門技術研修所」にて、当社の社員およびそのご家族を対象に、ダムや水門について知っていただくことを目的とした見学会を開催。本見学会は夏休みの企画として実施し、次年度は地域貢献の一環として、地元小学生を対象とした見学会も開催する予定である。

(<https://bousaisuimon.com/>)

(<https://www.ihico.jp/iis/products/ttc/ttc/index.html>)

Disaster prevention and gate technology training center

防災・水門技術研修所®

実際の水門設備を配備した、国内初の体験型研修施設

研修所の主な特徴

●座学と実機による体験型研修

技術基準に準拠した水門設備を配備しており、実技を通して点検・整備の実践的知識を付けることができる

- ①通常時の点検・整備の実技
- ②災害時の緊急点検の実技
- ③トラブル発生時の対応方法の実技 など

●トラブルを模擬的に発生

実際に稼働中の設備では起こせないトラブルを、研修所の設備では発生させることができ、対応方法や点検方法等を体験しながら学ぶことができる

●遠隔操作化に対応

遠隔操作室を配備し、遠隔操作システムとネットワークカメラを使用した、実践的な操作を体験できる

●ICT・IoT技術の活用

効率的な維持管理に寄与する、最新のCT・IoT技術の習得とその技術を活用する人材を育成する(DX推進)

施設管理者・協力会社・同業他社など、どなたでも研修を受講いただけます。水門設備の持続可能な維持管理を目的とした、人材育成の場を提供します



「防災・水門技術研修所」の紹介

見学会の様子

認定番号：32 サポーター名：株式会社 IHIインフラシステム

取組実績

・IHIグループが開発した、市民参加型インフラ点検の促進や、防災意識および地域の協力体制強化を図るスマートフォンアプリ「水門アクアリウム」を活用し、大阪・関西万博の未来の都市パビリオンにおいて来場者参加型のイベントを実施。パビリオン内で気になった展示を撮影してもらい、約4000枚の写真が集まった。

(<https://ihi-core.tech/projects/2025>)

(https://www.ihi.co.jp/iis/products/steel_construction/aquarium/index.html)



「水門アクアリウム」の紹介



未来の都市パビリオンでの「水門アクアリウム」を使ったイベント

認定番号：32 サポーター名：株式会社 IHIインフラシステム

取組実績

・土木学会「インフラメンテナンス チャレンジ賞」を2件同時受賞。上述の「水門アクアリウム」と「防災・水門技術研修所」の取り組みについて受賞した。

(https://www.ihico.jp/all_news/2025/infrastructure/1201894_13754.html)



表彰式の様子（写真左から）

IIS 防災・水門本部 工事第1部 佐々木 義幸、表彰小委員会委員長 伊勢 勝巳様（東鉄工業(株)）、
IIS 経営管理室防災・水門管理部 熊谷 公雄

②洪水時における水門操作の遠隔化・自動化に向けた運転支援システムの開発を継続

・内閣府が主導する戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の研究課題「スマート防災ネットワークの構築」に研究開発機関として参画し、現在は現地での操作が主流となっている洪水時の水門操作を遠隔化・自動化するための支援システムの開発を進めている。

(<https://www.wec.or.jp/SIP/3-bosai/project.html#D-3>)

(https://www.ihico.jp/iis/technology/review_library/i/IHI_Infrastructure_Technical_Report_vol14.pdf) ※pp.88-95